

「生活保護基準の引き下げはしないこと」の意見書提出を
求める請願書

2013年2月28日

盛岡市議会
議長 村田 芳三 様

請願団体
盛岡生活と健康を守る会
会長 鎌沢 範之



紹介議員

細川光正
鈴木礼子
守谷祐志



請願第 1 号

〔請願理由〕

国は、老齢加算を廃止し、毎月の生活保護費を約2割減らしました。その結果、「知り合いの葬式にも出席できない」など人間らしいくらしができなくなっています。更に、政府は2013年度予算編成において、保護費を3年かけて8%削減を実行しようとしています。

生活保護基準の引き下げは、利用している人たちの「健康で文化的な最低限度の生活」（憲法第25条）をおびやかす、最低賃金や年金、就学援助など各種制度の切り下げにつながります。

国民生活の最低保障基準の土台をなす生活保護制度は国が責任を持って保障すべきです。以上の見地から、次の要望が実現するよう、地方自治法第99条の規定により、国の関係機関へ意見書を提出いただくよう請願します。

〔請願項目〕

1. 生活保護基準の引き下げはしないこと。
2. 生活保護の国庫負担は、現行の75%から全額国庫負担にすること。